

総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【6月号】

クラブ名	NPO法人おもしろファーム	訪問日	6月11日	訪問者	枳本 祥子
訪問詳細	<p>今回は、NPO法人おもしろファーム主催の「第10回ランニングバイクイベント」に伺いました。天候が心配されていましたが、子どもたちの願いが通じ、無事に開催されました。約120名が参加され、その中には、熊本や広島、福岡など県外からの参加者が多くいました。ランニングバイクは、ペダルもブレーキもなく、自分の足を使って操作します。そのため、足腰が鍛えられ、バランス感覚も養うことができます。イベントでは、2才から6才までの年齢別にレースが行われました。また、当日参加も可能な、はじめてレース、ランニングバイクの体験コーナーも設けられていました。ときわ公園に遊びに来られた一般の方にも興味を持ってもらえるような工夫がされていました。また、芝生外でランニングバイクを乗らないように、イベント周辺を見回るスタッフも配置され、安全面にも留意されていました。スタッフの皆さんの工夫とランニングバイクを広めたいという思いが詰まったイベントだと感じました。継続的な活動を通して、宇部市からランニングバイクが全国へさらに広がることでしょう。</p>				

クラブ名	美和スポーツクラブ	訪問日	6月3日	訪問者	宮田 大樹
訪問詳細	<p>今回は、岩国市美和地区を拠点に活動している美和スポーツクラブの「設立10周年記念講演会」の様子を伺ってきました。節目の年ということで、NHK大相撲解説でおなじみの元小結・舞の海秀平氏をお招きして講演会が開催されました。「小よく大を制す」をテーマに、入門から現在に至るまでの経緯を話され、大相撲入りを決意したきっかけや新弟子検査時の苦労話など、テレビではあまり語られることのないようなお話もされ、会場からは、笑い声が起る場面もありました。終了後には、舞の海氏の直筆サイン入りグッズの抽選会も行われ、参加者は貴重な時間を過ごすことができたのではないかと思います。今回の講演会には、300名近くの方が参加され、美和地区だけでなく、遠くは、広島県からの参加もあったそうです。</p> <p>次回は、15周年の際に記念事業の開催を予定しておられ、さらに大きな事業となることが期待されます。</p>				

☆レッツ！オリ・パラ☆



馬術は、オリンピックの中で唯一、生物を使う競技です。また、男女の区別がない競技で、幅広い年齢層の選手が活躍しています。体力勝負というよりもいかに馬をうまく操るか、技術的な熟練度と華麗さがポイントになります。選手の技術だけでなく、馬の能力も重要となるため、時間をかけて素質のある馬に育てていきます。馬の調教やスタミナはもちろん、選手のバランス感覚やリズム感を馬とともに一体にする必要があります。選手と馬とがどのようにコミュニケーションをとっているのも見どころの一つです。

オリンピックでは、演技の正確さや美しさを競う馬場馬術（ドレッシングージュ）、コース上の障害物を飛び越え、正確さとスピードを競う障害飛越（ジャンピング）、馬場馬術と障害馬術、クロスカントリーを同じ人馬のコンビネーションで競う総合馬術（イベントィング）の3種目があり、それぞれ団体戦と個人戦で争われます。

山口県では、昨年の岩手国体で、障害飛越競技において八谷萌絵さんが、見事優勝されました。山口県勢のオリンピックでの活躍もあるかもしれませんね！

2020年
東京オリンピックまで

1117

日

※平成29年7月3日現在